

令和元年度 世田谷区立 喜多見小学校
学校関係者評価自己点検表

A	B	C	D	E
とても思う	思う	あまり 思わない	思わない	わからない

I 学習指導について						
自分は、児童一人一人にとって分かりやすい授業を行っている。		26	4	1		
自分は、一人一人のよさや可能性に着目し、適切な評価をしている。	2	26	3			
自分は、授業を通して、児童に学力を付けている。	1	24	5			
自分は、授業の始まりや終りの時刻を守って授業に取り組んでいる。	11	19	1			
理由・改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人にとって分かりやすい授業はできていない。授業研究をしっかりとっていく。 ・自分の力不足。積極的に研修に参加したり、時間を作って教材研究に励むことを意識していく必要がある。 ・学習習得度確認調査で、結果が出ていない。「みんなが参加する・みんなが分かる」授業を行うように努める。 ・授業の内容を理解しきれていない児童へのフォローが大切。授業はもちろんのこと、授業以外の隙間の時間を活用したい。 						
II 生活指導について						
本校は、児童の生活指導上の課題に、組織的かつ迅速に取り組んでいる。	7	21	2	1		
自分は、児童の規範意識や社会の一員としての自覚を高められるよう指導を通じ、児童に基本的な社会のルールを定着させている。	3	26	1	1		
自分は、子供や保護者からの相談に、親身になって受けている。	8	22	1			
理由・改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・学年会で常に情報交換していくこと、全校で問題を共有することを更に強化していく。 ・児童の社会的なルールが定着していない場面もある。児童が自分たちで正しいことを判断できるよう、考えさせながら気づかせていく。 						
III 学校行事(運動会、学芸会、宿泊行事など)について						
児童は、主体的に行事に参加し、楽しんでいる。	15	15	1			
学校は、児童の活躍の場が多く、内容が充実するよう、学校行事の工夫・改善を図っている。	6	23	2			
自分は、計画的に学校行事の指導をし、準備や練習にかかる時間は適切である。	3	21	7			
理由・改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・内容を充実させるために、必要以上の時間がかかっている現状がある。工夫をして、児童の工夫を生かす活動を増やしていく。 						
IV 学校運営について						
本校は、重点目標が明確であり、児童の実態にそっている。	5	21	3	2		
学校長は、経営方針が明確に示しており、リーダーシップが発揮されている。	3	24	4			
校長をはじめ教職員は、組織的に協力して教育活動を行っている。	3	26	2			

	理由・改善策 ・重点教育に対する意識や取り組みの理解を全体的に低いと感じる。重点目標について、全教職員で確認していく必要がある。					
V	教職員について					
	本校の教職員は、教育活動には、主体的に、熱心に取り組んでいる。	9	21	1		
	本校の教職員は、社会人としてのマナー、服務規律への意識を高く持ち、守っている。	7	22	2		
	理由・改善策 ・さらに自己を磨く研修(都や全国)に多く参加し、学校内でその成果を伝播していくと、教職員全体の資質が向上する。積極的に研修の機会を作っていく。					
VI	広報活動・情報提供について					
	自分は、保護者や地域の方に対して、必要な情報を発信している。	1	22	7	1	
	自分は、保護者の質問や改善案に対し、丁寧に対応している。	5	24	2		
	本校は、学校公開や保護者会等、教育活動がよく分かるように公開している。	5	26			
	本校は学校(学年)の様子が伝わるように、ホームページで分かりやすい内容を発信している。	3	25	3		
	本校は、「学び舎」の活動について、十分な情報を提供している。	1	18	8	3	1
	理由・改善策 ・ホームページについては授業の中で写真を撮ったり、アップをしたりとなかなかできなかった。無理のない範囲で、ホームページを更新する。					
VII	地域との連携について					
	自分は、地域との人材や施設等の活用を教育活動に取り入れている。	3	22	4	2	
	自分は、地域の活動や行事に協力し、参加している。	4	21	2	4	
	本校は、保護者に対して、学校協議会や合同学校協議会の情報を十分提供している。	3	22	4	1	1
	本校は、保護者に対して、学校運営委員会の情報を十分提供している。	5	20	4	1	1
	本校は、保護者に対して、「学び舎」の中学校の情報を十分提供している。	2	16	11	1	1
	理由・改善策 家庭の事情で、休日に地域行事に参加できなかったこともあった。					
VIII	学校の安全性について					
	本校は、安全指導や避難訓練などを通して計画的・組織的に指導を行い、児童の安全性を高めている。	10	21			
	本校は、児童の安全確保のための情報を適切に保護者に提供している。	5	23	2		1
	本校は、危機管理マニュアルを有効に活用し、災害時の対応を保護者に周知している。	5	22	3		1
	本校は、計画的・組織的に安全点検を行い、施設の安全性は確保されている。	9	20	2		
	本校は、児童の実態を踏まえた計画的・組織的な健康指導を行い、校内の環境や給食等への衛生面について配慮している。	8	21	2		

理由・改善策 ・施設老朽化により教員の安全点検では対応できないことが生じ、安全性が確保されているとは評価できない。					
IX 学校全般について					
本校児童は学校生活を楽しいと感じている。	12	13	1		
本校では、学校全体に活気がある。	11	20			
地域・保護者・児童は、本校の教育活動に満足している。	3	21	5		2
本校は、計画的・組織的に体育・健康教育を行い、健康の増進や体力の向上に取り組んでいる。	4	23	4		
自分は、スクールカウンセラーと連携を図り、児童・保護者にその情報を提供している。	11	18	2		
本校は、「学び舎」による小・中連携や交流活動が盛んに行われている。	4	23	4		
理由・改善策 ・「学び舎」による小・中連携や交流活動についてホームページや、学校だよりでお知らせしていく。					
X 本校独自評価項目					
児童は主体的に挨拶をする。	3	16	10	2	
児童の言葉遣いはよい。		14	16	1	
児童は、読書が好きである。	2	25	4		
理由・改善策 ・挨拶は児童による。挨拶週間が終わると、しなくなってしまう児童が多い。児童ボランティアの起用等これからも挨拶が普段から気持ちよくできるように、生活指導部を中心に考えていく必要がある。 ・言葉遣いが気になる。上手く気持ちを伝えられない上に、語彙が少ないので、ますます気持ちが伝わらない。指導を続けていく必要がある。 ・友達同士の言葉遣いが気になる。見つけたときにその都度指導していく。ふわふわ言葉の温かさを感じられる授業を行う。 ・言葉遣いに関して場面を使い分けようとしているが混同してしまう場合もあり、これからも声かけ・指導をしていく必要があるように感じる。 ・読書については、積極的に本を読もうとする姿の見られる児童は限られている。限られた時間の中ではあるが、本を読む時間をしっかりと確保していかななくてはならない。					